

中間評価に関する質問への回答 < 2 > (理化学研究所)

質問) ベクトル部，スカラ部，ファイルシステムおよびコネクト部の理研への製造コストおよび性能あたり単価はいくらか(単価は百万円/TFLOPS などの単位を用いること)。

ベクトル部及びスカラ部の製造コスト，性能あたりの単価は

- スカラ部(共有ファイルシステム込み)

ピーク性能11.3PF(LINPACK 性能 10PFLOPS 以上) 約 〇億〇〇〇万円(約 〇〇〇百万円/TFLOPS)

- ベクトル部

ピーク性能3.1PF(LINPACK 性能 3PFLOPS 以上) 約 〇億〇〇〇万円(約 〇〇〇百万円/TFLOPS)

である。

両演算部について，ほぼ同等の TFLOPS 単価である理由は以下の通り。

1. 次世代スーパーコンピュータプロジェクトの実施に当たっては、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2006」(平成 18 年 7 月 7 日閣議決定)において、「諸外国の情勢，技術革新，官民の連携強化等の視点も踏まえ，大規模事業，新規事業，独法運営等について可能な限りコストを縮減する(宇宙ステーション，スパコン等)」とされたことを受け，開発された成果によって裨益する民間企業からの投資も得つつ共同開発・整備を進めることとなった。
2. 具体的には，政府からの補助金のうちシステム整備に係る相当分を LINPACK 性能比で按分，各メーカーに配分して整備を進めることとした。以上の経緯から，国費ベースでの PFLOPS あたり単価はほぼ同等となっている。

また，コネクト部の最終機器構成は，製造・整備コストを含め検討中である。

以上